

BROADCAST CREATORS ASSOCIATION OF JAPAN

# 放送人の会

No.74

2016.6.3

〒102-0094 千代田区紀尾井町1-1 千代田放送会館 3階 Tel&fax03-3221-0019 Mail [info@hosojin.com](mailto:info@hosojin.com)  
発行 一般社団法人・放送人の会 会長 今野 勉 編集担当 伊藤雅浩(広報委員長・編集長)、鈴木典之、  
菅野高至、逸見京子、前川英樹(HP担当)、松尾羊一 事務局 佐藤真美子、須齋恵美子



西村与志木氏

森川俊生氏

黒住周作氏

今野勉氏

岡野真紀子氏

横山敏子氏

国谷裕子氏

寺園慎一氏

中島由貴氏

秋満吉彦氏

寺園慎一氏

手塚孝典氏

清水潔氏

岡部太司氏

岡部太司氏

大沢悠里氏

大沢悠里氏

助川朋子氏

助川朋子氏

境一敬氏

春日真人氏

部隊の兵士が書いた陣中日記によつて「丁寧に検証。」

ビジャーナリズムの良心と自負を示す作品として評価します。

## 放送人グランプリ『

### ◆グランプリ◆

国谷裕子氏

1993年4月から23年間続いた「クローズアップ現代」。生放送をこれだけ長い期間一人のキャスターが務めることはアメリカにおいても例を見ない偉業と言えます。

バラエティに富んだ日々のテーマは、キャスター自身が深く学び理解しなければ決して務まるものではありません。23年間このポジションを続けられた「苦労は余人には計り知れないものがある」と思っています。その功績を讃えると共に、しなやかな中で剛直なパワーを持つジャーナリストとしての今後の活躍に期待を込めて。

☆国谷裕子氏プロフィール／大阪府出身。

ヤスターを経て、帰国後、「NHKニューストODAY」の国際コーナーを担当。1993年4月から「クローズアップ現代」のキャスターを務める。

### ◆準グランプリ◆

NNNドキュメント 15

「シリーズ戦後70年南京事件兵士たちの遺言」

現在の政治状況のなかで扱いがデリケートになつてゐる南京事件を、当時の現地

ケツチ、生存者による証言などの実像を冷静に積み重ね、事件の実像に迫つていくと、いうドキュメンタリーの揺るぎない姿勢を讃えて。

### ◆優秀賞◆

手塚孝典氏

満州事変以後、日本は中国に多数の移民を送り出した。

長野県からは最多数の農民や少年義勇兵が駆り出され、集団自決や残留孤児問題などの禍根を残した。その事実を様々な角度から貫して追い続け、7本の秀作ドキュメンタリーを制作し続けた業績に対して。

☆手塚孝典氏プロフィール／長野県松本市出身。広告代理店勤務を経て信越放送入社。

満州移民をはじめドキュメンタリー番組を数多く手がける。SBCスペシャル「刻印（不都合な史実を語り継ぐ）」（2013年・民放連賞最優秀ほか）

### ◆企画賞◆

「100分 de 名著」

広く題名は知られているものの手に取つて読む機会が少ない世界的名著を適格な紹介者を選び4回100分で紹介し、とも

すると埋もれがちな名著を掘り起こす事で現代社会に銳いメッセージを提起する番組の指針を高く評価する。特に、テロの頻発する時代に向け多くの共鳴を得た「100分 de 平和論」の企画力を讃えて。

「人生の樂園」

テレビドラマが普通の人々の普通の暮らし

### ◆特別賞◆

大沢悠里氏

1986年から30年間もの長きにわたり、TBSラジオで月曜日から金曜日4時間半の生放送「大沢悠里のゆうゆうワイド」で語り続け、「日本一聴かれているラジオ番組」としての不動的地位を築き上げられました。（人情愛憎みな情報）という地道で温かいラジオ精神で、この偉業を達成したこと讃えて。

☆大沢悠里氏プロフィール／東京都出身。1964年TBSにアナウンサー一期生として入社。主にラジオで活動。1991年TBSを退社しフリーとなる。1986年より「大沢悠里のゆうゆうワイド」のパーソナリティを30年間にわたり務める。

ハローライフなどの土曜ドラマも手がけた。女性という属性を超えたドラマの今後を担う演出家としてさらなる活躍が期待される。

### 第2回 大山勝美賞』

受賞者 中島由貴氏

NHKエンタープライズ 制作本部 工

#### グゼクティブ・ディレクター

1992年、NHKに入った中島由貴氏は、「平清盛」などさまざまなドラマ枠で経験を積み、局の女性演出家のトップランナーとして活躍する。自ら企画し、執念で実現にこぎ着けた前田司郎脚本の「お賣い物」「迷子」「徒歩7分」は高く評価され、「55歳からの

ハローライフ」などの土曜ドラマも手がけた。女性という属性を超えたドラマの今後を担う演出家としてさらなる活躍が期待される。

### 受賞者 岡野真紀子氏

WOWOW プロデューサー

岡野真紀子氏は、笑顔の奥に強靭な勇気を秘めたプロデューサーです。2010年の

「なぜ君は絶望と闘えたのか」はじめ「學映像誕生以後100年の世界ニュース映像を集め、現代史の出来事が「映像の記憶」によつて転換している事実」を実証して衝撃的であると共に、現今世界の混乱状態が時代の大転換への予兆であることを洞察し、その方向性をも予見していく感動的です。

テレビの特性をいかんなく發揮し、テレビになつてゐる南京事件を、当時の現地

ぶりを描かなくなり、若者に迎合しがちな昨今、田舎暮らしや新たな挑戦などの第2の人生をいかに生きるか、様々な大人たちの選択を掲示するこの番組は、貴重な大人の園をもたらした功績に敬意を表して。

放送人グランプリ2016贈賞式  
は2016年5月21日（土）午後4時半から、南青山NHK青山荘で大山勝美賞の贈賞を含めて行われました。

大山賞のプレゼンターは石橋冠さんと渡辺美佐子さん。放送人グランプリの各賞のプレゼンターは今野勉さんと各選考委員がつとめました。全体の司会進行は逸見京子さんです。

以下は当日の式次第の順に沿った記録です。

### 大山勝美賞選考過程



石橋冠 大山賞選考委員長

まず、大山勝美賞とは何かを説明します。

大山さんが多額の寄付をなさつたので、私は今は今野会長とも相談して大山さんの名前をできるだけ記憶していく、という思いで大山賞を設立しました。

今日はこの後、放送人グランプリの贈賞がありますが、グランプリがラジオを含めあま

ねく放送全般に対して贈賞するのに対し、大山賞は大山さんが一番多く携わっていたドラマに対して差し上げようという原則を作りました。

また、大山さんは若い人を育てる」といふと熱心でしたので、この賞でも贈賞対象を60歳以下と決めました。ドラマ関係者で60歳以下、つまりここにいる会員のほとんどは対象外です。（笑）大山さんの遺志に沿ってこれから頑張る人に贈ります。

グランプリは1年単位で対象を選びますが、大山賞は何年間かの仕事をフォローして「この人すごいぶん頑張っている。これからも頑張ってもらおう」ということで選びます。そんな賞であることを理解ください。

それで、今年はお二人の方に贈賞することになりました。昨年受賞なさった方には気の毒ですが、今年から副賞として金5万円をお渡しすることになりました。

受賞者一人目はNHKの中島由貴さん。

島さんは前田司郎さんと一緒に、「お買い物」「迷子」「徒歩7分」や「55歳からのハローライフ」も2本となりました。日常と非日常のはざまにテリケートな目を向け、執念深くそのへんにこだわりを持ってドラマにしているディレクターです。最近、成熟なさつたそしたら番組一同評価しました。

岡野真紀子さんはまだ30代。若いのですが、キャピキャピというか勢いがあります。私は「なぜ君は絶望と闘えたのか」で一緒に仕事をしましたが、なにしろ凄まじい勇気をもつて突き進む人です。その後倉本聰さんとの「学」、岡田敏和さんとの「デキンレース」そして「私という運命について」など、いく

つもの秀作を世に出していました。非常に頑張り屋さんです。その岡野さんに期待を込めて賞を贈ります。

大山賞の審査にあたつたのは堀川とんこさん、鶴橋康夫さん、八木康夫さん、西村与志木さん、五十嵐文雄さん。今年から加わった鈴木嘉一さん、そして私石橋冠の7名です。なお、今日のプレゼンターは、大山さんの「令室の渡辺美佐子さんです。

### 受賞者挨拶



中島由貴氏

### 受賞者挨拶



岡野真紀子氏

は、「お買い物」で主演として出演していましたが、ドラマに入つて10年、微妙な立場にあつてこれからどうするのか悩んでいたとき、自分の作品に出会いました。今振り返つて大きな出会いだったと思います。番組も高い評価をいただき、あれがあつたからこそ今まで続けて来れたのだと思います。

私は20年ほどやっていますが、「朝」と「大河」は2本ずつしかやつません。メイン・ストリームにいられない、アウトサイダーでほとんど放送に貢献していないのではないかと思つっていましたので、放送人の会のこんな賞をいただくなんて夢にも考えていました。今日のことを大事に胸に抱いて面白いドラマを作るよう頑張つて行きます。

今日はありがとうございました。（NHKエンタープライズ・ドラマ部エクゼクティブ・ディレクター）

とても光栄な賞をいただき嬉しく思つております。同時に非常に驚いております。

石橋監督とは「なぜ君は絶望と闘えたのか」で初めて一緒にさせていただいたのですが、それが私がWOWOWに転職して最初の作品でした。その前はアレバックにて冴えな

い助監督と言われていましたが、APからPになって一大決心をして転職しました。その最初の作品が「なぜ君は絶望と闘えたのか」です。その頃、WOWOWはまだテレビの歴史が浅く、自由が許される環境でした。その環境をみて、石橋監督は「テレビの規制がどんどん厳しくなり、やりたいことが本当に出来るのは今大きな壁になつてゐる。しかしWOWOWはまだ青春時代で、若い会社なのだから、やりたいという意図さえあれば、人を傷つけない作品であればやれる。やり続けるべきだ」と言って下さいました。

われわれは人を傷つけないと強く決意してチャレンジして番組が作られました。

そのとき石橋監督から教わった精神をもとにいくつかの作品を作りました。お客様の苦情も抗議もなかつたし、作る側にやりたいことをやる強い意志があれば、伝えたいことはちゃんと伝わるのだと勇気を貰いました。

3年ほど前、私は放送人の会に入会しました。私は子どもの頃からテレビが大好きで、エンターティルに名前が出ている人を追つかける日々で、岡田恵和さんも、倉本聰さんもそうで、そんな大先輩と一緒に仕事をして、そんな方の教えは本当に大事だと思います。上からは新しいものをといつも言われます

が、先輩の数多い経験から生まれたいいものを感じたうえで新しいものを模索して行きたいと思います。放送人の会の世代を超えて教えていただく環境は大切だと感じています。

本日はありがとうございました。(WOWOW制作局ドラマ制作部)

## 【挨拶



渡辺美佐子氏

が、先輩の数多い経験から生まれたいいものを自分の身に感じたうえで新しいものを模索して行きたいと思います。放送人の会の世代を超えて教えていただく環境は大切だと感じています。

本日はありがとうございました。(WOWOW制作局ドラマ制作部)

いました。何十年も生きてきたこの身をそのままさらして、いれば、いいのだな、と最近は感じています。今もテレビや映画のお仕事で超えて教えていただく環境は大切だと感じています。

大山が亡くなる1年ほど前、「放送人の会を通じて若い人を奨励するようなことをしたいのだが、生きているうちにやるのは鳥居がましいだろうか」と相談をされたことがあります。私は「若い人の励みになるのならいいんじゃないの」と答えました。そうして1年後に亡くなつたわけですが、こんな形になつて大山はほつとしていると思います。

大山は「お買い物」という作品が大変気に入りました、「これがテレビの原点なのだ」と言つておりました。私の演技ではなくて、私が出演した作品があんなに褒められたことはなくて、中島さんの受賞を大山も喜んでいると思います。

岡野さんのドラマは今回お名前をしつかり覚えました。WOWOWのドラマが私は好きでいろんな作品を見ましたが、これから是非拝見するよう致します。

中島さん、これからも不思議な、変なドラマを見せてください。

放送人の会の皆さん方が大山のことを大事に思つてくださつてこのようない賞を続けてくださつていることを本当にありがたく思います。

これから放送人の会の発展と今日受賞なさつた方のご活躍を願つております。

西村与志木選考委員長



西村与志木選考委員長

## 放送人グランプリ選考過程

放送人グランプリの中に大山賞と放送人グランプリの各賞の2つの大きなパートがあります。今、大山賞の贈賞が終わりました

が、これから奨励賞、企画賞などの賞から準グランプリ、グランプリの贈賞を順次行います。

この審査は今年の3月30日に審査委員会を開きました。今年から大山賞の選考委員長

石橋さんにも入つていただいて8名の審査委員です。その前に放送人の会の会員投票があり、それをベースに選考委員会での選考を行いました。今回会員からの投票は質の高いものが多く寄せられました。今日の賞は放送人の会の会員の総意が現れたものです。

それでは、

## 奨励賞 「人生の楽園」

講評 桧山珠美選考委員

今日は会

員の推薦  
がかなり  
多かった

こと、私が  
個人的に  
愛すべき  
番組だと  
思って選  
びました。



私の人生はセカンドライフどころかファーストライフからぐちやぐちやなのですが、こんな私にもやさしく夢を与えてくれる素敵

な番組だと思います。テレビはバラエティ番組もぐらぐらで、あまり見たくないような人ばかりテレビの画面に現れ、ついチャンネル

を切り替えたりしますが、この番組は1週間

1度の憩いの番組としてこれからも長く続

いて行って欲しいとthoughtsいます。

**愛着者の言葉** 森川俊生氏

「人生の楽園」のプロデューサーをしておられます森川です。今回は素晴らしい賞をいただき本当にありがとうございます。

「人生の楽園」がスタートしたのは2000年10月なので、15年以上続く長寿番組です。この数年視聴者の関心を非常にいただくようになりました。これは時代の背景があります。いわゆる団塊の世代が60代の後半を迎え、第2の人生をどのように生きるかが大きな社会的関心事になっています。

(テレビ朝日報道局情報センター報道制作班プロデューサー)

## 企画賞 「100分 de 名著」

講評 河野尚行選考委員

「100

分で名著」

は始まつて

丸5年にな

ります。一

度くらいは

ご覧になっ

ていると思

います。こ

れまでに約

70冊の名

著を取り上

げていて、先

日そのリストを見ましたが名前を知らない本は1冊もありませんでした。しかし、読んだことがあるかというと、実は名前だけで読んだことがない名著ばかりです。ただこの番組のおかげで最近古典が身近なものになりました。例えば、今年の正月に「100分で平和論」をやり、ボルテールの「寛容論」を取り上げましたが、これは昨年暮れバリで同時デロが発生したのをとらえて高橋源一郎が実に見事な解説をしました。私はすぐにアマゾンでこの本を注文しました。

今日はここに能に詳しい遠藤さんがお見えですが、世阿弥に「風姿花伝」という本ができます。これを読むと、視聴率というマーケットの中で仕事をしている放送人にとっての座右の書だと思います。極めて戦略的なソフト論が書いてあります。の中に「時節感当」という言葉があります。これを私なり

に意訳して「適切な紹介者を得て、タイミングをつかれば古典はたちまち現在に甦り、極めてジャーナルなものになる」と解釈しました。これが「100分で名著」の企画意図そのものではないかと思います。

この1年大いに「時節感当」した「100分で名著」に放送入りグランプリ企画賞を差し上げたいと思います。

おめでとうございます。

**受賞者の言葉** 秋満吉彦氏

今の講評

を聞いて

この番組を

本当によく

読み解いて

くださって

いてありが

たいと思い

ました。番

組開始当初

から、名著

を単に古い

古典教養と

いうのではなく現在とつながり、現在に何を問

いかけてくるのかを意識し、現在に通じるメ

ッセージを拾おうとしてきました。

賞状をみますと新春の「100分で平和論」もご覧いただいていますが、あの番組は企画を立ち上げた途端に同時に多発テロが起り、もとはカントの「永遠平和のために」を取り上げる予定でしたが、収録の1週間前に急遽差し替えました。最後に長い朗読がありましたが、本当に力のある言葉で、オン・エアし

ながら朗読のところで涙がこぼれてしまいました。古典の持つ力は素晴らしいとあらためて感じました。

今メディアに対しては「批判力を失つていいのではないか」と視聴者からの厳しい意見がありますが、メディアが社会が間違った方向や危ない方向に行こうとしているとき、名著はそれを正しい方向へ戻す力があります。今読み直して全てが書かれている本が名著だと思います。

視聴者の方がメッセージを読み取つて、もう一度メディアの持つている力、私たちがやつてしていることの意味を理解していただく機会にこの愛賞がなればと思います。視聴率が低く、光が当たることの少ない番組ですが、光をあてていただいて感謝しています。番組を継続して行くための大きな力です。これからこの賞に恥じない番組を作つて行きます。(NHKエデュケーション特集文化部ミニアプロデューサー)

## 優秀賞

NHKスペシャル 「新・映像の世紀」  
講評 鈴木典之選考委員

20年前の「映像の世紀」では眼前に甦るニュース映像の「喚起力」の大きさに圧倒され、「映像は歴史を伝えるのではなく、現代では映像が歴史を作る」とに気づきました。

今回の「新」シリーズでは喚起力を一步進め、この100年の世界の動きを6つのテーマに整理し、その因果関係を読み取つて、「我々はなぜ今、世界的な混迷状況の中に在るのか、世界はこれからどこに向かおうと

しているのか」を考えようとしています。



史講座になつています。活字やことばでは、この鮮烈なインパクトは望めません。

日本も今、時代の変わり目の瀬戸際に立つていて、老いも若きも対応を迫られています。複雑な時代の流れの底に新しい時代の芽を見付けるには世界的な視野が必要です。この企画はそのための優れた案内役になり、考えるためのたくさんのヒントを与えてくれます。放送人なら必見の番組だと思いますが、会員の多くが受賞に推薦されたことは心強い限りで、「さすが、放送人の会は放送のプロ集団だ」と感服しています。

## 優秀賞

NHKスペシャル 「新・映像の世紀」  
講評 鈴木典之選考委員

受賞者の言葉 寺園慎一氏

20年前の「映像の世紀」では眼前に甦るニュース映像の「喚起力」の大きさに圧倒され、「映像は歴史を伝えるのではなく、現代では映像が歴史を作る」とに気づきました。

今回の「新」シリーズでは喚起力を一步進め、この100年の世界の動きを6つのテーマに整理し、その因果関係を読み取つて、「我々はなぜ今、世界的な混迷状況の中に在るのか、世界はこれからどこに向かおうと

して、「そんなことは気にするな。

20年前の方  
がよかつた  
というのは、  
『学生時代  
に食べた下  
宿の近所の  
カレー屋さ

のわかり易  
く啓蒙的な  
「現代世界  
史講座になつて  
います。活字や  
ことばでは、  
この鮮烈な  
インパクトは  
望めません。  
日本も今、  
時代の変わり  
目の瀬戸際に  
立つていて、  
老いも若きも  
対応を迫られ  
ています。複  
雑な時代の  
流れの底に  
新しい時代の  
芽を見付ける  
には世界的な  
視野が必要です。  
この企画は  
そのための  
優れた案内  
役になり、考  
えるための  
たくさんの  
ヒントを  
与えてくれま  
す。放送人  
なら必見の  
番組だと思  
いますが、  
会員の多く  
が受賞に推  
薦されたこ  
とは心強  
い限りで、  
「さすが、  
放送人の会  
は放送の  
プロ集団だ」と  
感服してい  
ます。

本当にいい仕事をしたのだろうかと思つ  
ていましたが、こうして賞をいただきスタッ  
フ一同報われた気持ち一杯です。ありがと  
うございました。(NHK大型企画開発セン  
ター・エグゼクティブ・プロデューサー)

るようなものだ」と言われたのが非常に励ま  
しになりました。僕らがこの番組で目指した  
のは、「過去の歴史の連鎖で現在の世界が存  
在している」と伝えることです。例えば現在  
の中東の混乱は第1次世界大戦から始まつ  
ている。今の石油文明、自動車、金融資本主  
義などは1920年代のアメリカで一挙に  
生まれた。経済のどんづまりの中で世界がい  
かに独裁者を待望したか。こうした歴史を今  
とのつながりで見て行こう、と心掛けて番組  
を作つてきました。メッセージ性を強く打ち  
出すより、物語りのなかにメッセージを潜ま  
せて視聴者的心に届けばいいなというつも  
りで作りました。楽しい仕事だったので、全6回の仕事を終えて、映像の力はますます  
巨大になって行くが、テレビ局の役割はどん  
どん小さくなっているとつくづく思いました。

井川が作った最終回はインターネット、ユ  
ーチューブの映像だけ構成しました。昔は  
プロのカメラマンがその場にいないとニユ

ースの映像にはならなかった。今は誰もが撮  
影者になり、発信者となつてゐる時代です。  
テレビ局の立場は相対的にどんどん低くな  
つてゐる。そんな中でテレビに求められて  
るのは何か新しいことだと思うのですが、無  
数の市民が撮つた玉石混交の映像の中から  
選び出し、分析し、検証して歴史の中に位置  
づけて行く、それがこれからのテレビ局の大  
きな役割になつて行くのではないかと考え  
ています。

本当にいい仕事をしたのだろうかと思つ  
ていましたが、こうして賞をいただきスタッ  
フ一同報われた気持ち一杯です。ありがと  
うございました。(NHK大型企画開発セン  
ター・エグゼクティブ・プロデューサー)

て、『そん  
なことは気  
にするな。  
20年前の方  
がよかつた  
というのは、  
『学生時代  
に食べた下  
宿の近所の  
カレー屋さ  
の味が変わ  
つた』  
と言つてい  
るようだ』と  
言われたのが  
非常に励ま  
しになりました。僕らがこの番組で目指した  
のは、「過去の歴史の連鎖で現在の世界が存  
在している」と伝えることです。例えば現在  
の中東の混乱は第1次世界大戦から始まつ  
ている。今の石油文明、自動車、金融資本主  
義などは1920年代のアメリカで一挙に  
生まれた。経済のどんづまりの中で世界がい  
かに独裁者を待望したか。こうした歴史を今  
とのつながりで見て行こう、と心掛けて番組  
を作つてきました。メッセージ性を強く打ち  
出すより、物語りのなかにメッセージを潜ま  
せて視聴者的心に届けばいいなというつも  
りで作りました。楽しい仕事だったので、全6回の仕事を終えて、映像の力はますます  
巨大になって行くが、テレビ局の役割はどん  
どん小さくなっているとつくづく思いました。

井川が作った最終回はインターネット、ユ  
ーチューブの映像だけ構成しました。昔は  
プロのカメラマンがその場にいないとニユ

2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

う。藤久ミニ選考委員  
優秀賞 手塚孝典氏

講評 藤久ミニ選考委員  
一つのテー  
マを深く掘り  
下げることは  
テレビの世界  
はあまり得意  
ではないよう  
ですが、手塚  
さんはそうで  
はないですね。

手塚さんは  
2009年  
に「福太郎の家」で奨励賞を受賞なさつてい  
ます。善光寺の門前で住んでいて結婚も同居  
もせず、しかしこどもは作つて3人で非常に  
楽しく生きてゐる、といふ今の若い人のちょ

つと思いがけない感じの作品でした。善光寺

周辺の新しさ、バラエティ的な面白が評価さ

れていました。その翌年から7年、7本の満

蒙開拓団関係の作品を連続してお作りにな

りました。順不同ですが作品のタイトルを紹

介します。「二つの祖国に生きて」、「残され

たとき」——これは下伊那の方が集団自決で

74人亡くなつた事件、「少年たちは戦場に送

られた」——学校の先生は、のちに悔恨の言葉

はありましたが、少年たちを駆り立てるよう

に満蒙へ送つた、「良太郎の向日葵」——残留

孤児2世の話、「刻印」不都合な史実を語り

繼ぐ——「孤児1世と2世が満州」と呼ばれ

ていた中国へ出かけて行く、「華民哀史」、こ

のように一つのテーマを連續して追い続け

ています。民間放送の制作の中では非常に珍

しい例です。長野県は教育県でもあり、非常

にきちんととした県、眞面目過ぎる県のイメー

ジがあり、明治以降国家が敷いてきた方向性

に忠実に従つてきた。それが27万もの移民

を結果として用意した。それが1945年8

月にやぶれてさまざまな苦難に襲われた。そ

のことを、二つ二つといろんなところから材

料を集めて1本の作品に仕上げ、結局に捨

てられた者の歴史なのだ、哀史なのだという

結論で全体を締めくくっています。ドキュメ

ンタリーにはこれまでいろんな作品があり

ますが、ここまで一筋に1本の道を歩み続け

たディレクターはいないと思います。

掘り下げて掘り下げて、国家体制の根幹に触れるまでの仕事に心から敬意を表します。

## 受賞者の言葉 手塚孝典氏

長野県に  
住んでいま

すと、地域

の戦争の歴

史、満州事

変は今も轟

いていると

感じていま

した。年に

1回くらい

はそこに光

をあてて皆

で考えたいと思つて最初は作りはじめまし

たが、やつていろいろうちにどんどん新しい問題

が見えてきて、いくらやつてもわからない。

6本目の証言記録を作つたとき、もうこんな

には受け止めきれないという感じになつて

いました。じつくり取り組もうかと思つてい

るそんなとき福島から原発事故で避難して

こられた方を取材しました。その方は長野か

ら満州へ行き、戦後故郷へ帰れず福島に入り、

原発の事故でそこからも追われた人です。目

が覚めました。じつくりなんて言つていられ

ない。頑張つて取材をすることにしました。

その時の社会の状況は特定秘密保護法が成

立し、集団的自衛権の行使容認、原発の再稼

働など、戦後70年で何を反省し何が変わ

つたのだろうと強く思いました。現代に通じ

る問題として満州事変から国策、国家につい

て問いたいと思って番組をどんどん作りま

した。戦争も原発も時間がたつと評価も記憶

も薄れます。それと権力者が都合の悪いこと

はなかつたことにすることとは別のことで

す。そのことには抗つて行かなくてはと思つて

ています。

この受賞は大変励みになりますし、これからも搖るぎない自分でいたい、闘う放送人で

いたいと思います。本日はありがとうございます。(信越放送情報センター制作部ディ

レクター)

## 特別賞 大沢悠里氏 講評 石井彰選考委員

プロの喋り

手の前で喋

るのは大変

緊張します。

私は大沢さ

んとは不思

議な縁が

あり、私は

文化放送で

大沢さんの

裏の番組を

8年間作つ

てこじて負けました。反省して、大沢さ

んのワイド番組の中にある永六輔の「誰かと

どこかで」のディレクターになりました。つ

まり寄り添つたわけです。いわば大沢さんは

大家さんで、私は永さんという店子の居候で

す。そんな居候が賞をあげるというのは僭越

です、大沢さんの番組が多くの人々に愛され、

日本一聞かれているというのは大袈裟では

ありません。首都圏ではずっと聴取率ナンバ

ワンを続けてきました。それも毎日4時間

半を月金で30年間、やらせる局も局ですが、

何曜日でも話題が途切れることがない。これ

は素晴らしいとずつと思つてきました。

大沢さんにロングインタビューをしたこ

とがあります。そのとき聞いた言葉「スタッ

フ同士で飲むんじゃない。車で移動するな。

電車やバスに乗れ。飲むなら別の業界の人と

飲め」が忘れられません。大沢さんは自分の

番組だけじゃなくTBSのスタッフを育て

ている。今首都圏ではTBSラジオが圧倒的に強いのですが、そのラジオを愛するスタッ

フを育てている。そんな大沢さんを私は顕彰

したいと思います。

大沢さんはいま土曜日に番組をやつてお

られます。今日は番組を終わつて来ていただ

いています。大沢さんはいつまでも語り続

けて欲しいと思います。多くのラジオマン

に多くのことを教えてくださいがありがと

うございました。

## 受賞者の言葉 大沢悠里氏

最近は第

三者の厳し

い目があり

変なことは

できません

が、今日はお

呼びいただき

いて表彰し

ていただき

ありがとうございます。

さつきから

伺つていますと皆さん日本のこと、世界のと

を本当に真面目に取り上げた番組をおやりになつてゐる。わたしは彼女(さこみちよ)

## 挨拶　さゝみちよ氏



講評　堀川とんこう選考委員  
私は純粹なドラマ屋でドキュメントリーについて語るのは恥ずかしいのです。が、このドキュメントリーは2度見て2度泣きました。それ

とお色気大賞という、人前ではあまり言えないようなことをやつて参りました。それで賞というのは何か面はゆいといふか、場違いの席に來たような感じがしております。

私は放送に関する賞は貰つたことがあります。生まれたときに浅草で赤ちゃんコンクールで優勝したことがあります。当時は浅草区です。それ以外はユーモア大賞と雑学大賞を貰つてますが放送に関しては今まで何にもなくて初めて今回の特別賞です。

毎日朝8時半から午後1時まで生放送をやつてきました。朝6時にTBSに入り、30年、無違勤です。前の日お酒もあまり飲めない。それをずっとやつてきました。赤ちゃんコンクールで優勝したのが響いているのかと思いますが、一歩一歩努力するのが評価されたのかと思います。毎日仕事をしながら、入院で病気療養中に、いろんな形で聞いていただいて喜んでいたので、それが聞いていただいてにつづりしていただきます。

今土曜日に移つて、ゆつくりやらせて貰っています。

ラジオにはいろんな媒体があつてラジオで生きて行くのは大変な時代ですが、もともとはラジオが先でテレビが後なので、ラジオ少しほうじらじの優位を取り戻すのにラジオの先輩として頑張りたいと思います。

金曜日に「お色気大賞」を一緒にやつていらるこちらに一言、挨拶をさせていただきました。(TBSラジオ・パソナリティ)



「懇々ワイド」の前から38年、私の青春を捧げました。大沢さんに寄り添つてきたおかげでこんな晴れやかな場に立たせていただきま

した。笑つて、ただ頷いているだけの私ですが、これからも大沢さんを支えて行きたいのによろしくお願ひします。(タレント)

準グランプリ NNNドキュメン  
ト「南京事件 兵士たちの遺言」

## 講評 堀川とんこう選考委員

私は純粹なドラマ屋でドキュメントリーについて語るのは恥ずかしいのです。が、このドキュメントリーは2度見て2度泣きました。それは本当にうざいです。

選考委員はそれぞれ番組に熱いエールを送りましたし、会員からの推薦も多々、非常に質の高い推薦文が多く、そのことにも私は感動しました。

今日は本当にうざいです。

## 受賞者の言葉 清水潔氏



戦後70年

に何をやろう

かと1年前か

ら準備を始め

ました。戦争

を振り返れば

どうも被害の

ことになつて

しまう。原爆、

東京大空襲な

ど、もちろん

それらは忘れてはならないことです。一方何故戦争が起つたのか、どういう経緯だったのかを忘れてはならない。という思いで、正直言つてあまり着手したくなかった南京事件を調べ始めました。

調べてすぐに突き当たったのは、事件自体があつたのかなかつたのかという問題です。ドキュメントリーで事件の取材をいろいろやりましたが、事件自体があつたかなかつたか問題になつていて、その部分は一体何か問題になつていて、それが何を意味するか、どうしてそのように書かれたのかを調べなくてはいけない。それを知らないとやることができないといつて、それをやることになりました。

この、なかつたと言つて、一体何かあつたのかなかつたのか、どうしてそのように書かれたのかを調べなくてはいけない。それを知らないとやることができないといつて、それをやることになりました。まずひたすら本を読み、チェック、チェックまたチェックです。いろんな取材をしましたが、裏付けの取れないものは全部捨てました。100取材して10放送しよう、10しか取材できなかつたら1放送しようと決めました。

戦後70年の番組ですが、南京事件は77年

前の事件です。当時20歳の人を探し出して100歳近くになっています。取材は困難でしたが、その中で福島県住みの小野賢一さんに出会いました。地元の連隊の兵士の日記を長年にわたって個人的な立場で集めておられました。この方の全面的な協力を得ることができます。この場を借りてお礼申し上げます。小野さんの協力なしではあの番組はできませんでした。

この資料をどう生かすか、CGを取り入れたりいろんな工夫をしました。

放送に対する不安はありました。夜中の番組であり見られないのではないかと思つていたのですが、放送する物凄いリアクションです。会社あてにメールも電話も大量に来ました。最近珍しくなったFAXや手紙、葉書もたくさんきました。スタッフで全部目を通しましたが、9割が「よくこんな放送をしてくれた」「再放送をして欲しい」と高い評価をし、残り1割が「こんなことを何故今になって蒸し返すのか」と否定的なものです。もし番組の中で間違いがあったら面倒になるとなると気にしていましたが、幸いそんなことはありませんでした。

夜中に放送された番組に光をあてていたただいたことに感謝しています。こういう番組にまたあきらめずにトライしたいと思って準備しています。

本当にありがとうございました。

放送人グランプリ 国谷裕子氏

講評 西村与志木氏

23年間の「クローズアップ現代」、大変な

長さと持久力だと思います。この番組の最初の頃、私はドラマのプロデューサーでしたが、ときどきNHKの本館で出会いました。国谷さんはたいていの場合前が見えないくらいの大変な量の資料を持って廊下を小走りにやつてきます。あるとき国谷さんは私の目の前で資料を落としました。当時の私はミーハーのファンですからその資料を拾おうとしました。するときつい眼差しで睨まれました。つまりそのときから、本番のずっと前ですが青い炎がぱーっと背後に燃えているような思わず後ずさりするほどの迫力、気力、エネルギーを感じました。それを23年続けてこられました。

放送人グランプリはまだ15回ですから、ずっと後輩です。

そのキャリアを称賛することは賞の目

的ではありますが、「一番大事なことは、これからも国谷さんをジャーナリズムのいろんな場で拝見したい」ということです。お疲れでしょうし、一休みしたい気持ちはわかりますが、「ミーハーのファンとして国谷さんにさらにお躍して欲しい。鋭い眼差し、思わず後ずさりするような迫力をみせて欲しい」と思っています。期待しております。とりあえず23年間、ご苦労様でした。

### 受賞者の言葉 国谷裕子

今日は本当にありがとうございます。先ほどから皆さんのスピーチを聞いていて、私が受賞していいのかと恐縮しています。この賞をいただいて私にとって一番嬉しいのは、ここにいらつしゃつて私を選んでくださった皆さん、放送現場のつらい点、厳しい点、



その中のいろんな制約などを全部、存じなことです。

「クローズアップ現代」はNHK全体のチームワークでできている番組で、あらゆるセクションからテーマが提案され、提案されたテーマにそつてプロデューサーや記者が懸命に取材し、強い思いをもつて番組を出しています。私が関わるのは前日と当日だけです。

す。嬉しい熱意と地を這うような取材をなさった方からバトンを渡されて、この番組で出てよかつたと思われるようなキヤスターであります。期待しております。(キャスター)

間うていました。自分はどんな付加価値を番組につけられるのだろうか。それが大変苦しめたのですが、それを問い合わせ続けてきた23年間でした。

一つだけ貢献できたかなと思うのは、VRTで撮れていない世界、映像で表現されていない大事などについて、番組制作前の議論で提案したり、議論して重層的な番組にすることができたかなと思います。

私が番組の冒頭で話す前説は最初は40秒ほどでした。それがだんだん長くなつて最後の頃は2分半に及ぶことがありました。それだけ時代が難しくなつて、社会が複雑になつてテーマをどんな角度で伝えるかということを言うのが難しくなつている証だと思つています。伝えるべきことは伝える、聞くべきことは聞く、キャスターのやるべきことをどこまでやれたかわかりませんが、一所懸命にやりました。

賞をいただけて本当に嬉しいです。(キャスター)



賞状を読み上げる今野会長

## 放送人の会総会

第3期一般社団法人放送人の会の総会が

人グランプリ」「日韓中テレビ制作者フォーラム」などの事業活動や会員有志による安否報告を承認。左記の決算、予算(表は簡略化して掲載しました)を承認。改選期でないので

る新しい2016年度の放送人の会の運営体制を承認しました。

第41回 名作の舞台裏

土曜ドラマ 64 (ロクヨン)

日時・6月19日(日曜)午後1時半

場所・情文ホール(横浜情報文化センター6階)

ゲスト・ピエール瀧(出演)

大森壽美男(脚本)

屋敷陽太郎(制作)

井上剛(演出)

司会・渡辺紘史(放送人の会)

土曜ドラマ「64」は原作・横山秀夫の  
ベストセラーの持つ多面的な人物関係複  
雑な構造を正確に映像化した質の高い  
警察ドラマとして高い評価を受け、平成  
27年度文化庁芸術祭テレビドラマ部門  
大賞を受賞した。(2015年4月18日)

## 平成28年度予算

(単位:円)

### I 一般正味財産増減の部

#### 1、 経常増減の部

##### (1) 経常収益

① 受取年会費	2,770,000
② 受取寄付金	1,556,261
受取寄付金	94,000
受取寄付金振替額	1,462,261
③ 事業収入	3,065,000
放送番組センター共同事業費	1,800,000
イベント収入	345,000
日韓中フォーラム	0
放送人の証言	920,000
④ 雑収益	92
受取利息	92
経常収益 計	7,391,353
(2) 経常費用	
① 事業費	3,450,904
名作の舞台裏	331,894
人気番組メモリー	530,588
放送人の世界	105,714
ドキュメンタリー・ワールド	58,529
放送人の証言	1,281,209
放送人グランプリ	602,994
ラジオプロジェクト	3,120
放送人句会	72,822
日韓中フォーラム	464,034
② 管理費	4,578,279
給料手当	1,489,650
諸謝金	159,000
事務所賃貸料	863,100
通信費	355,271
旅費交通費	352,288
会議費	339,210
印刷費	134,911
広告宣伝費	312,059
事務用品費	55,248
消耗品費	26,570
交際費	0
支払手数料	25,080
支払報酬	465,492
雑費	400
経常費用 計	8,029,183
当期経常増減額	▽ 637,830

### 2、 経常外増減の部

#### (1) 経常外費用

雑損失	141,648
経常外費用 計	141,648
当期経常外増減額	▽ 141,648
当期一般正味財産増減額	▽ 779,478
一般正味財産期首残高	847,089
一般正味財産期末残高	67,611

### II 指定正味財産増減の部

受取寄付金	0
受取利息	7,267
一般正味財産への振替額	▽ 1,462,261
当期指定正味財産増減額	▽ 1,454,994
指定正味財産期首残高	47,070,150
指定正味財産期末残高	45,615,156

5月21日(土)午後3時から青山荘1階で開かれ、「名作の舞台裏」「人気番組メモリー」「放送人の世界」「ドキュメンタリー・ワールド」「放送人の証言」「放送タリーウールド」の5つの会議が開催されました。

人グランプリ」「日韓中テレビ制作者フォーラム」などの事業活動や会員有志による安否報告を承認。左記の決算、予算(表は簡略化して掲載しました)を承認。改選期でないので役員の変更はありませんが、委員会やプロジェクトのメンバーに若干の変更があ

経常費用 計 6,548,000  
経常増減額 ▽ 378,100

# 「これからの一年のこと

放送人の会 会長 今野 勉

このところずっと、放送人の会の総会、放送人グランプリ贈賞式、懇親会の会場として使わせて頂いていたNHK青山荘が、今年取り壊されるということで、青山荘での総会やその他の催事は今年が最後ということになつた。長い間お世話になりましたと御礼を申し上げる。

来年までに新しい会場を探すということでもこれから一年でしなければならない課題の一つとなつた。

現在の理事・監事の任期はあと一年である。そのことも念頭に置いて、これから一年でやるべきことを挙げてみる。

## 1 会員同士の交流のこと

総会は欠席だったが懇親会には顔を見せた会員がかなりいたようにお見受けした。年に一度くらいは顔を合わせて互いに話をしたいと思ってのことであろう。それならば、忘年会にもう少し顔を見せて頂いても良いのではないか、といつてしまつ。誰かの講演を聞いたり番組を上映したりした後の一いつと、懇親会などが望まれているのもかもしれない。

その辺りを今年は考えてみようという話も理事の間で出ていることも報告しておきた

今年の開催地は、中国・湖南省の省都・長沙である。湖南省は毛沢東の出身地であり、長沙の第一師範は毛沢東の出身校である。湖南テレビが主催団体である中国テレビ芸術家協会と共催の任にあたると思われる。長沙は中国の内陸にあり、今まで一番遠い。参加する会員は、旅費を自己負担しなければならないので、参加者が少なくなるのでは、という心配もある。個人参加である「放送人の会」と国家組織である「中国テレビ芸術家協会」との差は、こういうところに出てくる。当会の補助金は上限が定められているので、いかんともしがたい。

こうしたことを見頭に、来年、日本で行われる日韓中テレビ制作者フォーラムをどういう理念でやるかを考え、開催地を早急に決めなければならない。日本で開催する時ぐらいいは多くの会員が参加できるようにしたいと思う。

## 3 会の精神的拠りどころ

昨年は安保法制案に放送人の会として反対声明を出すべきかどうかを巡って理事の間でも会員同士でも議論がなされた。

改めて確認したのは、当会は会員の個人の思想・信条を超えて、テレビに対する強い関心や愛着によって支えられているということであつた。

## 2 日韓中テレビ制作者フォーラム のこと

### 羊羹を語

その意味で、私は今年の総会に出された(一〇一五年度)の決算書の中の小さな数字を感慨深く見た。「受取寄付金」94,000円と

あつた。昨年のこの項は4,000円である。ラジオにしても民放の番組概念がつかめない。とりあえず「皆様のNHK」を真似るわけだが、どこか殷懃無礼調の上から目線の空気感とは差別化した庶民性が欲しい。同時にわたしが所属した教養班なら、「一人トークや座談会とは違つジャンルがないものか。

当時、出版系からも週刊新潮社と文芸春秋から週刊誌が創刊された。昭和32、33年だ。新聞記者のアルバイト原稿による巻頭特集記事がウリだった。草柳大蔵以下のフリーのもの書きたちを「トップ屋」(構成者のこと)と呼んだ。地の文をナレーションで取材箇所を括弧で繋ぐ独特な構成文をラジオに応用出来ないか。生まれた番組が30分の「録音構成」だつた。それを十数年やつているうちに絵のあるテレビのドキュメンタリーが台頭し、ラジオ局は録音構成を周年か民族コンクールエンブリー用に年2、3本しか作れない。それにしがみついているうちにコストパフォーマンスの編成管理にひつかり、わたしは局内失業者だ。やることがないから終日資料室にかくて文化放送(本名)、内職「松尾羊一」の人生がはじまり、86歳の古老になって初めて明日をも知れぬ本名人生にたどりついたつてわけ。オレって一体何だつたんだろう?

## 4 それでもやはり参加を

と、呼びかけたいと思うのは、例えは今年の放送人グランプリの贈賞式での賞を贈る側の言葉と、国谷裕子さんをはじめとする賞を受け取られる側の言葉が、会場に集まつた会員や受賞者の皆さん的心を、時に熱くさせ、時に奮い立たせ、時に微笑ませ、そして大きな共感で心を二つにした瞬間を、共有したいと思うからである。今年も「名作の舞台裏」や「放送人の世界」や「ドキュメンタリーワールド」や「日韓中テレビ制作者フォーラム」が催される。気軽にご参加下さるようお願いする次第だ。

(了)

## 床下の発想

鷹森 泉

晴れて? 前期高齢者となつた私は、深夜番組を聞きながら眠りにつき、早朝ワイドで目が覚める日々を送っています。現役時代、24年間ラジオ制作に携わっていたからというわけでもないのですが、ザッピングしながら聞いているという感じでしょうか。それでも1月の夜明け前、中堅と思われる女性アナウンサーの落ち着いた声がイヤホンから聞こえてきました。

「それではここで音楽です。ワインディーアソシエーション」。??瞬間、違和感を覚えました。そしてすぐにそのわけに気付きました。曲名とアーティスト名が逆だったので曲も同じ紹介が繰り返されました。

いくら半世紀も前の歌とはいって、ワインディーアソシエイションのチャリティーシュに続く大ヒット曲。私の中ではありえない取り違えでした。まさに隔世の感といった出来事でした。

しかし、この隔世、世代間のギャップの問題が、今、ラジオの制作現場で深刻さを増しているといいます。番組づくりのノウハウの

継承ができないことです。これは私がラジオを離れた10年以上も前から指摘されていましたことで、「これまでにもさまざまなかままで嘆きの声があがっていました」。

言うまでもなくラジオを取り巻く環境は厳しい状態が続いている。毎日をこなすのに精一杯で、とてもノウハウの継承まで手を回す余裕がないのが現実だと思います。また、番組の作り方も大きく変わり、取材から編集完歩までの作業をパソコンで一人で窓詰めできます。ラジオは話し手と聴き手一対のペーソナルなメディアだと言われますが、今や作り手までペーソナルになっているのではないか。チームプレーから個人プレーに変わった、それがノウハウの継承を難しくしている一因ではないかと思います。

そういう中で最近思うのは、ノウハウの継承が進まないのは、世代間のギャップ、考え方や価値観の違いがやっぱり大きいのではないかということです。

私は駆け出しの頃、新聞からネタを拾う時は、できるだけ小さな記事から探せ、そこからどれだけ広げられるか制作者の腕次第だと教えられました。独自に目をつけ、物事を掘り下げる力を持つための入り口という意味があつたと思います。それが新人類と呼ばれた世代が現れてほどなくして通用しなくなりました。ある日、月刊の生活情報紙の

1面に大きく掲載された記事を番組のネタとしてとりあげたいと若手女性Dが言つてきました。私は妄直ではないかと感じその理由を聞いたところ、大きく目立つ記事だから関心が高いことの証拠、取扱いの大小にこだわる意味がわからないと、およそ考えたこと

もない返事が返ってきたのです。仕事に対する姿勢とまでは言いませんが、価値観が異なります。世代のギャップを思い知らされた最初でした。もちろん、その後彼女は経験を積む中で自らの目で世の中を見る力を養い、40代半ば近くなった現在、プロデューサーとして若手を育てる役回りになっています。

その若手の主流はゆとり世代となります。今はともかく、世代間の価値観の違いを今さら云々しても仕方ありません。むしろギャップは当然と認めた上でラジオって何? ともう一度原点を考え直してみることが重要と思います。しゃべり手がいてマイクに向かって話すという基本は十年一日、少しも変わっていません。ラジオが作り出す世界の原点はそこにあると思います。

知識や技術の継承は覚えることである程度達成できます。しかし、個人の感性や趣向に左右されがちな考え方の継承は簡単ではありません。どうすればリスナーに想像してもらえるか、話題は? コメントは? 音は? 番は…と、たまには床下で考えてみるのも必要ではないでしょうか。床下の発想があれば、根うことなる番組づくりのノウハウの継承も期待ができるのではないかと思います。即効性はありませんが…

(静岡放送OB)

うちに突然、「やつとわかった。○○ワイドのAさんでしょ」と下から笑顔をのぞかせ言つたそうです。親方はAアナと顔を合わせて話している時は、どこかで会ったような気はしていたそうです。しかし、誰か思い出せずモヤモヤとしたまま床下に入り、Aアナの声だけを聞くようになってハタと気がついた

そうです。親方はふだん番組を聞きながらAアナのイメージを自分なりに想像してつくり上げていました。そのイメージが目の当たりにした本人とは違つていて、初めは気がつかなかつたというわけです。ウソのような話ですが、これこそ私はラジオの世界だと思いま

す。声(音)で想像させ、世界(映像)を創造するなども言うのでしょうか。ラジオは見

るものだとよくいわれる所以がそこにあるように思います。

知識や技術の継承は覚えることである程度達成できます。しかし、個人の感性や趣向に左右されがちな考え方の継承は簡単ではありません。どうすればリスナーに想像してもらえるか、話題は? コメントは? 音は? 番は…と、たまには床下で考えてみるのも必要ではないでしょうか。床下の発想があれば、根うことなる番組づくりのノウハウの継承も期待ができるのではないかと思います。即効性はありませんが…

## 小室等の新音楽夜話～ラジオ的 テレビ論

笛山 正勝

開局以来30年在籍したFM東京からMXテレビに移つて、16年になりました。移籍当時、開局5年目のMXテレビは別として、わが世の春を謳歌していた「テレビ放送界は今や、コストコントロールが日常的に叫ばれる時代に大きく変化しました。誕生以来、時の核メディアとして愛され、親しまれてきたラジオやテレビは今後、ネット社会の中で人々とどのようにかかわっていくのでしょうか。

私は2年前から「小室等の新音楽夜話」という音楽番組の制作プロデュースを担当しております。この番組は、開局もないFM東京で放送していた人気番組「小室等の音楽夜話」がモチーフとなっています。わが国フォーク・ソング界の重鎮、小室等さんがゲストなど『よもやま話』をする15分ペルトのトーク番組で、井上陽水さんや吉田拓郎さんら、当時の旬なアーティストたちが毎週ゲスト出演し、普段は聞けない話が放送されていました。私は担当ではありませんでしたが、喜々として番組を作っている先輩を羨ましく思つたものです。

あれから40年。年明けの会議の席上、「最近休日になると都内のあちこちのホールでフォークやニューミュージックのコンサートが開かれていて、50、60歳代の夫婦連れで『心も満員らしい』という話が話題となりました。若かりし頃、ギターを手に自ら詞や曲を創作し、歌つていた団塊世代は今や、定年を迎えるターゲット。みなさん、悠々自適の

日々を過ごされています。テレビの「ヒビー視聴者はほとんどが中高年者、言い換えれば、団塊の世代です。

「ひょっとして、時代は巡つて今、フォーグ番組は再び時代をとらえる企画になるかも…」「フォーグソングと言えば弾き語り、制作費はあまりかからないかも知れない…」

その時、FM東京時代の「小室等の音楽夜話」がふと頭に浮かびました。当時、15分ペルトの対談だったラジオ番組をゲストのトリーに懐かしい日本人の演奏を聴かせる週一30分のテレビ番組にリニューアルしたらどうなるのか。弾き語りとは言え、生演奏の番組制作経験が皆無のMXテレビではできるのか…、様々なことが脳裏を駆け巡ります。課題が山積していることも容易に想像ができます。しかし、44年の放送局人生の大半を番組制作に携つてきたわが人生最後の番組になるかも知れないとの思いが企画実現へ駆り立てました。

お会いした関係者の方々はどなたも大変好意的で、おしみない協力を約束して頂きました。殊に、40年前に番組を放送していたTOKYO FM編成制作局、ペーソナリティを務めておられた小室等さんにはこの紙面をお借りし深謝申し上げます。

会議での雑談から2ヶ月後、尾崎亜美さんとムッシュかまやつさんをゲストに迎えて1回目の収録が行われました。半蔵門・MXテレビのスタジオで音楽の生演奏を収録するのは初めてで、しかもスタッフ全員が音楽番組の未経験者でした。張りつめた空氣の中、放送がスタートしてから2年が経ちました

つて大声あげて止めればいい。肩の力を抜いて気楽にいこうよ!」といった言葉が飛び出しました。また、南こう

元々ラジオなんだから。ラジオって、作って人間が出演者とディレクターの二人だから仲間意識が強いんだよね。それがラジオの良さなんだよ」「ラジオって、作ってる人の心がリスナーに伝わるのよ。この番組はテレビだけど元々ラジオなんだからラジオの気持ちでいきましょうよ」。ベラン出演者3人の余裕とりードで、予定を1時間半オーバーしながらも何とか収録を終えることができました。

未経験の手探りの中で始まつた「小室等の新音楽夜話」は、幸いにも放送直前からたくさんの方の問い合わせを頂戴しました。そして放送が始まると、「昔のラジオ番組をテレビで放送するとは思つてもいませんでした。ラジオではゲストとの話だけでしたが、生演奏が聴けるなんて最高です」「昔、このラジオをよく聞きました。懐かしく毎週見て、います」「テレビらしくないラジオのような番組に感激です。音楽とともに若かつたあの頃を懐かしく思い出しました」等、時代を彩つたシンガーソング・ライターの話と演奏に、かつての自分を重ね、若かりし頃に思いを馳せている視聴者が大勢いらっしゃるようです。ラジオは聴く人のイメージーションに訴えると言われますが、テレビ番組「小室等の新音楽夜話」も視聴者のイメージーションをくすぐり、見る人それぞれの世界を想像させるラジオ的演出が生かされた番組なのかも知れません。

今年の3月11日、東日本大震災から5年という節目を迎きました。各メディアは大々的に特集を組み、未曾有の大災害を振り返り、復興への時の流れを伝えました。ラジオもNHK、民放、そのAM局、FM局、さらにコミュニティFM局が3月11日前後に通常番組内や特別編成で大震災関連の番組が放送されました。

大災害がある度にラジオは見直され評価されます。ラジオに携わる者としては、いささか不満です。普段から、もっとラジオの価値を認めて必要性を再認識してほしい思いが

あります。1ヶ月が過ぎた4月14日の夜、熊本県と大分県で大地震。その後も相次いで震度7や6強を観測する地震が発生しました。この時もラジオは注目されました。特にコミュニティFMの存在は、既存メディアとは違った意味でその価値を際立たせていました。

熊本市のコミュニティFMが24時間の臨時災害FMに切り替え、益城、甲佐、御船の3町でも地域情報を提供しました。いずれも役場主導で、総務省から機材を借りて始めたそうで、役場や公共施設内に設けた即席スタジオから放送を続けています。熊本市中心部にあるコミュニティFM「熊本シティエフエム」は、14日の地震発生以来、災害対応の生放送を続けました。熊本シティエフエムは、阪神大震災の翌1996年、第三セクターとして発足し、市内の約7割の地域をカバーしています。総務省が18日、災害FMとして月末30日まで許可され、期間中は公費で経費補填される予定のことです。現在は元のコミュニティFM局に戻っています。

熊本の被災地4市町で、臨時災害FM局が開設されることにより、住民の安否やライフラインの状況、食料やガソリンといった生活必需品、生活相談の窓口などの情報を伝えています。

コミュニティFMの利点は、災害時の初期段階において地域住民が、生活のために必要な情報を提供できるということです。それは、生きるために必要な情報であり、命を守る放送局を意味します。

放送法は、「災害の場合の放送」として、地上波、BSなどに「暴風、豪雨、洪水、地

震、大規模な火事その他による災害が発生し、又は発生するおそれがある場合は、その發生を予防し、又はその被害を軽減するために役立つ放送をするようにしなければならない」と義務付けています。この規定に一番適しているのは、ローカルなラジオ放送であり、最も被災者に近いところで価値があるのは、コミュニティFMです。

被災者にとって大事なことは、地元はどうなっているのか、どうするのか。自分の暮らしをどうするか。そこに一重寄り添えるのはコミュニティFMで、地域や共同体と密着したメディアであるということです。地域の情報流し続けるラジオ放送が、被災した方にとつて最も重要な情報源なります。最も頼りにされる小さなメディア、コミュニティFMにもっと興味を示すべきではないでしょう。

2016年5月現在、全国のコミュニティ放送局は302局あります。地域に深く寄り添い「情報と音楽」を流し続けるコミュニティFMの被災者支援。厳しい経営を続けながら「防災ラジオ」として地域貢献を果たしています。

そんななか、東日本大震災で自治体が開設したFMの臨時災害放送局が、5年経過して相次いで姿を消しました。それは、役目を終えたとする自治体の判断や国からの補助金の打ち切りが理由です。災害FMが継続するためには、コミュニティFMへの移行が必要ですが、資金確保が難しいのが現状です。

このコミュニティFM局にとつて売り上げを如何に上げるかは大きな課題となっています。コミュニティFM局の売り上げが低

迷しているのは全国的な傾向で、電波媒体としてラジオ業界 자체が低迷していることを考えると当然のことです。

それでも、コミュニティFMは守らなければならぬことと言ふ時に小回りが利くメディアとしてのコミュニティFMは、命のラジオでもあるのです。

大災害はいつかやります。その時にたために何が必要なのか。どんな対策が求められているのか。被害を拡大させないための手立てはなかつたのか。そのことを普段から繰り返し伝え続けていくことが大切なです。南海トラフ巨大地震では、東海、近畿、四国、中国、九州と東日本大震災以上の災害になると予想されています。

大災害から学ぶことは沢山あります。教訓を伝え続けることが大事です。しかし、人々は忘れるのです。しばらく大災害がなければ気が緩み危機感を低下させます。

備えあれば憂いなし。その備えの一つとしてのコミュニティFM。すでに地域にコミュニティFM局がある場合は、自治体と住民の連携の強化。財政難から手を引く自治体も珍しくありませんが、ここは政治の力に期待したいところです。メディア全体が、コミュニティFM局の必要性を伝え、補助金などの支援を訴えることです。現在、コミュニティFMのない地域には住民の働きかけに期待したいところです。公共事業で道路を造る予算の一部でも回して頂ければと願います。後は全國にいる放送人のOB、OGたちが地域の世話人となり、コミュニティFMを支えることが出来れば、さらに心強い限りです。

(日大芸術学部放送学科講師)

## 16回日韓中テレビ制作者フォーラム・中国長沙大会要項決定 会員多数の参加と現場の制作者の参加をぜひ勧誘ください。

【開催日時】

10月13日（木）から16日（日）まで  
13日（木）入国・夕刻 欽迎会  
14日（金）フォーラム  
15日（土）フォーラム  
16日（日）閉会式、長沙地方視察

17日（火）帰国  
16日（火）フォーラム  
15日（水）家庭・青年の情感  
【シンポジウムのテーマ】

【フォーラムのテーマ 試写作品のテーマ】  
【テレビ番組の刷新とインターネットとの関わり】

【参加作品は 各国3本（ドラマ・ドキュメンタリー・エンターテイメント）の計12本】  
【すべての作品を全員が鑑賞し、討論します】

【今回特別に、参加者の交流のために『交流室』を設けることとなりました】

【参考者数は 中国60人 韓国40人 日本40人】  
【◆中国湖南省長沙は春秋戦国時代の『楚』の都・漢代には長沙国として栄え、今に続く歴史・文化・遺跡が豊富です。また、中国最初の最高学府である岳麓書院が置かれた学問の都、今でも国家重点大学が5校存在する。国内有数の教育研究重点都市です。古くは屈原・閔羽・そして近代では毛澤東・劉少奇・胡耀邦という指導者を輩んだ土地柄です。】

【そして今回のフォーラムのホスト局は、中国有数の『元気のよいテレビ局』中国湖南テレビ・愛称『マンゴーテレビ』です。その活気あるテレビ局が今回の

オーラムに最大限の意気込みで準備を始めています。

【これまでの慣例通り、渡航費だけ個人負担（会員に

が若干の補助あり）、滞在費等すべては、主催者中国が負担します。（フォーラム実行委員 渡辺紘史）

## 菅野高至

金曜時代劇「はやぶさ新八御用帳」の役者たちの話を続ける。

荻野目慶子さんは誰かに「役者を続けない」と背中を押して貰ったのだろう、と僕は考えていた。恋人の死を抱え込んだまま死なないでどう生きるか、踏み迷っているのだと思っていた。後に、その考えは半分不正解で、深作欣一さんとの新しい恋に悩んでいたと分かったのだが……。

ともあれ、プロデューサーに会つてくれると、いうなら、出演の脈はあると僕は踏んで、「小かん姐さんを小糸に演じられるのはあなたしかいない。捕物帳だから殺人事件を扱うこともあるし、タイトルに『心中』をつたう話もあるが、平岩弓枝原作とNHKのドラマ作りを信じて欲しい、これからも役者を続けるのなら、是非演じて欲しい」と口説いた。今の言い方で言えば、小かんを演じることがリハビリにつながりますよ」という理屈であった。

ちなみに、心中話の副題は「狸の心中」、美しい妹をえさに男たちから金を巻き上げる男、実は妹が体を病んでいた……という物語で、脚本は井上由美子であった。かくして、恋人の死と新たなる愛を抱えたながら、93年の夏から翌年の春にかけて、彼女は女優になつて戻つて行つた。

それから9年余、02年の晩秋、『御宿かわせみ』の第5回「幽霊亭の女」で、ゲスト出演をお願いする。幽霊が出るという噂

の鰐屋で女将が殺される、かわせみには亡き父に世話をなつたという女・荻野目慶子が来る。女は鰐屋の若主人と駆け落ちしていた相手だ……。殺人事件が絡む話だが、出演OKを貰う。巷では、彼女の自伝「女優の夜」(幻冬舎)が話題になつていて。

収録は03年の正月休み明け。あるうことか、深作欣一さんが亡くなり、再び彼女は渦中のひとなつが、収録は予定を変えずに行つ。体力、気力が限界を超えて、いつもの彼女の輝きは無かつたが、物語の設定上ではあり得る芝居だと考えて、OKを出した。放送は5月2日になつた。

暫くして彼女から詫びの電話が入る。「ご免なさい、菅野さん。はやぶさの恩返しをしたかったのに、芝居が全く出来る状態じゃ無かつた。大事な作品を傷つけることになつてしまつたの、『免なさい』と謝る。「大丈夫、ちゃんと出来ていたよ」と励ました。が、自分の不甲斐なさを一番分かって、悔やんでいるのは彼女自身だった。

後に、彼女と再会したり、「はやぶさ」の出演する時に、嘘をついていたの」と詫びる。「えつ！ なのに？」なんの話だらう。話している内に、監督深作欣一との関係を隠してドラマに出ていたことを詫びているのだと分かる。はやぶさでも、心こにあらずの時があつたから、と謝る。

だったら、先のことを考えましよう、三度目の正直を考えましよう、と約束して別れた。だが悔しいかな、恋する女優がえんじてひかり輝く物語を仕組めぬままになつてしまう……。

深作欣一監督で思い出したのだが、かつ

て中原早苗さんの大きなお尻に惚れた先輩ディレクターがいた。一九七七年の大河ドラマ「花神」(天野靖子脚本、司馬達太郎原作)の収録だった。僕はFDで彼女にQを出していた。確か品川宿の想定だつたと思うが、宿の女中役で出ていた中原さんが、階段を上り一階に酒肴を運ぶシーンで、バスクショントを撮る。本番中、演出家はインカムを塞がないで、「いいねえ！ 大きな音声が、日本人だね、農耕民族だ！」と叫ぶのだ。あーあ、聞こえている！ 一体どうするの!! し冷や汗が流れた。中原さんの収録を終え、その帰り際にスタジオを出で、送り出しの挨拶をして行くと、大きな声で「お疲れ様！」と言って、『監督』によろしくね」と笑いながら帰つて行つた。

その時、一児の母の中原さんは42歳、気の小さい僕には苦難様のように見えた。新八郎の忍ぶ恋の相手、お鯉を演じた有森也実さんのことを書く。有森さんは、86年8月公開の松竹大船撮影所50周年記念作品「キネマの天地」脚本・山田洋次、井上ひさし、山田太一、朝間義隆、監督・山田洋次、製作・野村芳太郎でヒロインに抜擢される。その試写会の案内が井上ひさしさん主宰のこまつ座から回つて来て、見に行き記憶にとどめた女優さんだつた。19歳朝ドラのヒロインにふさわしいと思う。しかし、その後、縁が無いままで、はやぶさ新八御用帳を迎えて、やつと辛抱役のヒロイノお鯉の役で出て貰うことになる。尤も、平岩さんに駄目を出されて、大衆小説のヒロイノは成長しないので、その恋も行きつ

戻りつで進展しない、まさに辛抱役になつてしまつたのだ。

かわせみ

の第1章第一回「宵節句」03年4月放送と、第二章第一回の「花御堂の決闘」05年5月放送で、一度同じ役で出て貰つて、平岩弓枝さんの「御宿かわせみ」は、連載開始の73年から今までの『オール讀物5月号』で、通算三百話となつて、生懸命、脚本を読み込んでくる素敵な女優さんである。

ところで、平岩弓枝さんの「御宿かわせみ」は、連載開始の73年から今までの『オール讀物5月号』で、通算三百話となつて、健筆を揮つ平岩さんは昭和7年、一九三一年生まれの84歳だ。その若さにただただ脱帽である。

（つづく）

前号（2・12発行、No.73）頁20のシンポジウム「戦後70年」テレビは何を伝えたか」の報星記事中、2段目から3段目に移るところで1行分「行トビ」し、放送番組名が誤って記載されました。正しくは『戦時性暴力』(TBS・報道特集)、『南京事件・兵士たちの遺言』(日テレ・NNNドキュメント)です。

## 訂正とお詫び

前号（2・12発行、No.73）頁20	のシンポジウム「戦後70年」テレビは何を伝えたか」の報星記事中、2段目から3段目に移るところで1行分「行トビ」し、放送番組名が誤って記載されました。正しくは『戦時性暴力』(TBS・報道特集)、『南京事件・兵士たちの遺言』(日テレ・NNNドキュメント)です。
---------------------	--





## 会員名簿

2016.6.3 現在

【あ】藍澤幸久 相田洋 相本芳彦 青木裕子 秋田和典 秋山豊寛 雨宮望 新井和子 【い】池田正之 石井彰 石井ふく子 石橋映里 石橋健司 石橋冠 磯智明 磯野恭子 磯村健二 市岡康子 市川哲夫 市村元 一色伸夫 伊藤雅浩  
井上佳子 井上良介 今井義典 岩澤敏 岩瀬弥永子 【う】上田洋一 上村忠 浮田周男 雉井広義 臼杵敬子 内山洋道 宇野昭 【え】江川雄一 江口展之 榎本恒幸 遠藤利男 遠藤ふき子 遠藤雅充 【お】大池雅光 大川光行 大蔵雄之助 太多亮 太田昌宏 大野秀樹 大原れいこ 岡弘道吉 緒方陽一 岡野真紀子 岡本勉 小川治 小河原正巳 沖野邦暉 萩野慶人 尾田晶子 織田晃之祐 【か】加賀美幸子 各務孝 柏木登 片岡敬司 勝部領樹 葛城哲郎 加藤滋紀 加藤拓 加藤義人 金澤宏次 金沢敏子 金子登起世 金平茂紀 加納孝夫 川平朝清 錬内啓子 亀谷弘美 鴨下信一 川喜田尚 川口健一 河邑厚徳 河村正一 【き】北川泰三 北川信 北川祐美香 北出晃 北林由孝 北村美憲 北村充史 木村成忠 【く】工藤英博 久保志穂 隅部紀生 倉内均 倉澤治雄 訓霸圭 黒崎博 黒沢淳 【こ】小池勝次郎 河野尚行 小玉滋彦 後藤和晃 小林和男 小山眞人 近藤一男 近藤邦勝 近藤晋 今野勉 【さ】斎藤秀夫 斎明寺りく子 酒井美樹男 寒河江正 坂元良江 桜井均 佐々木彰 佐々木欽三 佐々木政光 笹山正勝 佐藤敦 佐野有利 澤田隆治 【し】重延浩 重村一 重盛政史 静永純一 志津木敬 四宮康雅 柴田陽一郎 鳴田親一 清水満 志村一隆 下崎寛 下重暁子 白井博 【す】菅野高至 菅野嘉則 杉田成道 鈴木昭典 鈴木俊樹 鈴木典之 鈴木弘貴 鈴木嘉一 須磨章 【せ】清野豊 関佳史 せんぼんよしこ 【そ】曾根英二 【た】高島秀之 高田宏 鷹森泉 竹中一夫 武本宏一 田澤正稔 田中昭男 田中秋夫 田中直人 田中則広 田原茂行 【ち】崔銀姫 【つ】塚原あゆ子 塚本茂 塚本幹夫 辻本昌平 土屋敏男 つよいノリオ 露木茂 鶴橋康夫 【て】寺島高幸 【と】東城祐司 堂本暁子 戸田桂太 外崎宏司 豊原隆太郎 【な】中尾幸男 中込卓也 中崎清栄 中島僚 中田美知子 永田浩三 永田俊和 長沼士朗 永野敏一 中町綾子 中村敦夫 中村克史 中村季恵 中村美美子 中山和記 並木章 【に】新村もとを 西憲彦 西村与志木 西川章 仁田豊文 仁藤雅夫 二宮文彦 丹羽美之 【の】信井文夫 延江浩 【は】萩原豊 橋本潔 林健嗣 林安二 原由美子 原田令嗣 【ひ】玄武岩 【ふ】深尾隆一 藤井チズ子 藤井正博 藤久ミネ 藤村忠寿 【へ】逸見京子 【ほ】星田良子 星野輝一 堀川とんこう 【ま】前川英樹 牧之瀬恵子 増山麗央 松尾羊一 松平定知 松前洋一 黒川りんたろう 【み】三上義智 水上毅 水野憲一 南謙 三原治 三村景一 三村千鶴 宮崎洋 宮川鑑一 三宅恭次 【む】村上光一 村上雅通 村上佑二 村田亨 【も】本木敦子 諸橋毅一 門奈昌彦 【や】八木康夫 矢口久雄 矢島良彰 藤内広之 山鹿達也 山県昭彦 山崎隆保 山崎裕 山路家子 山田尚 山田良明 山根基世 【よ】横山英治 吉澤保 吉田賢策 吉永春子 吉村豪介 吉村直樹 【わ】若松央樹 和崎信哉 渡辺浩平 渡辺紘史

【賛助会員】 日本民間放送連盟 TBSメディア総合研究所 融合研究所 日本ケーブルテレビ連盟

### 編集後記

◀「放送人グランプリ」が在ってよかつたときだ。誰もが、本音で喜びを語る。他の賞では見られない、親密な心のふれあいに思える。会場の空気が一気に暖まる。

今回は、殊に国谷裕子さんの表情が忘れられない。「現場の苦労を知り尽くした皆さんが選んでくださったことがいちばんうれしい」と、ことばは控えめだが、笑顔に万感がこもっていて、つい涙腺が刺激された。会員を先輩と敬い、「同志」と安心する心情がありありと読みとれたからだ。

掲載されている「受賞者の言葉」を味読してみてください。受賞者各位の謙虚な喜びにこめられた含蓄の深さが、改めて胸を熱くします。(典)

◀今年から「放送人グランプリ」の運営に西村委員長の補佐として、本格的に関わらせて頂くことになりました。諸先輩の支えと広告代理店在職時代の経験値でイベントの運営業務自体はこなすこと出来ましたが、最後に割り当てられた役割

一「司会進行」が難関でした。

綿密な進行台本を作成し何度も読み込んで当日を迎えたが、冒頭から大失敗・中盤以降は開き直りも手伝つてからうじて最後まで務める事が出来たという有様。「私には、表舞台は無理だ」と痛感 反省させられた一日でした。

そんな状態の当日でしたので、会誌の校正に当たりグランプリ関係の記事を読み直すと受賞された方々の素晴らしいコメントに改めて深い感銘を受けました。

最後に、今回のグランプリ運営に当たり、私の未熟さゆえにお手数をお掛けした事務局の須齋・佐藤両氏に心からに感謝申し上げます。(逸見京子)



放送人グランプリ贈賞式・司会進行中の筆者

かつて、1968年の5月革命のパリでソルボンヌ大学の学生に対する意識調査があり、「この世界にあつてはならないものは?」の問いへの答えは戦争でも貧困でもドゴールでもスターリン主義でもなく圧倒的に「アントレ」の名が残っています。

思想はソルボンヌの学生にしっかりと伝わっていたのです。高橋源一郎氏が平和論のテキストに「寛容論」を選んだのは適切だと思いました。いい番組でした。(視)